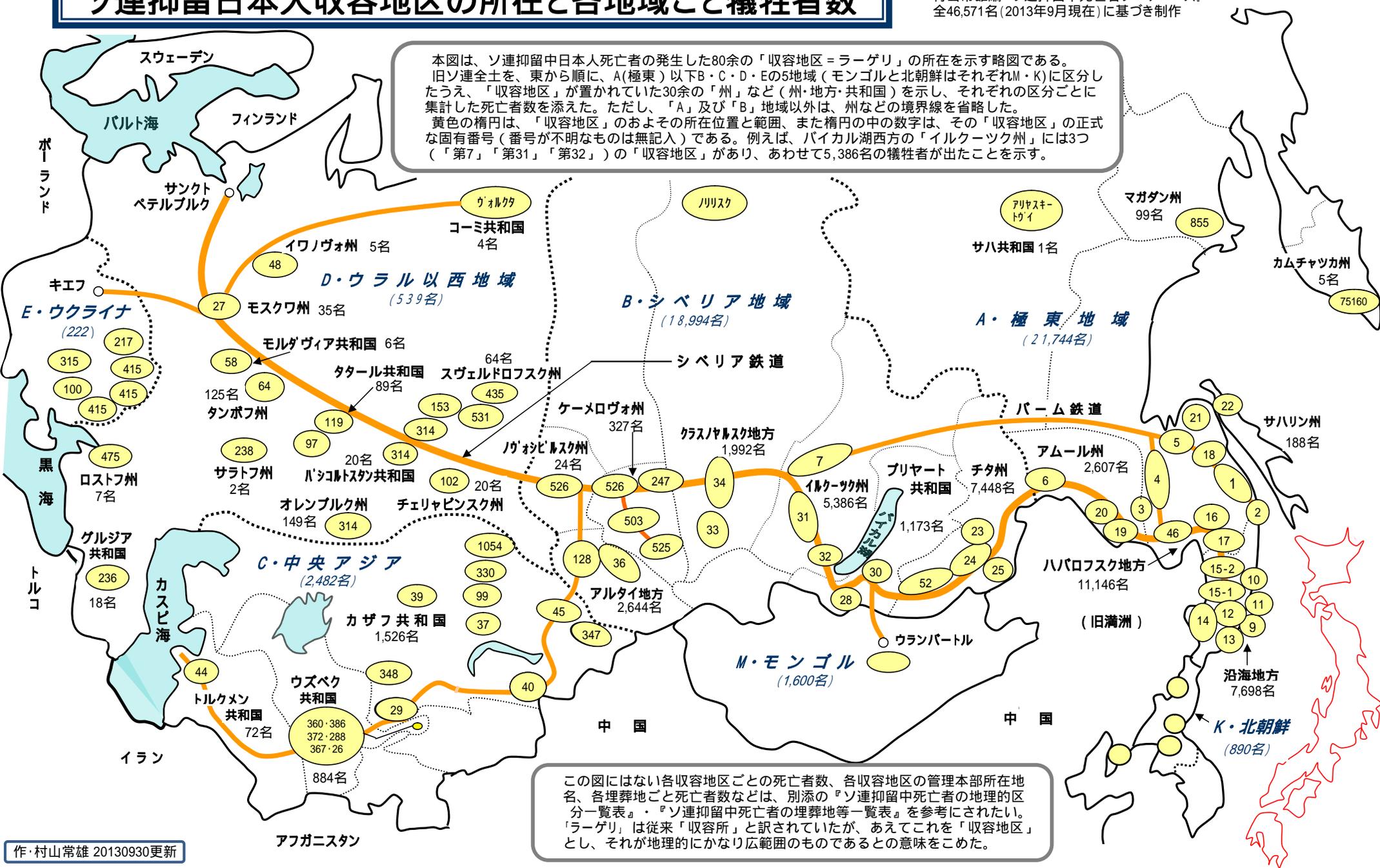


ソ連抑留日本人収容地区の所在と各地域ごと犠牲者数

村山常雄編『ソ連抑留中死亡者データベース』
全46,571名(2013年9月現在)に基づき制作

本図は、ソ連抑留中日本人死亡者の発生した80余の「収容地区＝ラーゲリ」の所在を示す略図である。旧ソ連全土を、東から順に、A(極東)以下B・C・D・Eの5地域(モンゴルと北朝鮮はそれぞれM・K)に区分したうえ、「収容地区」が置かれていた30余の「州」など(州・地方・共和国)を示し、それぞれの区分ごとに集計した死亡者数を添えた。ただし、「A」及び「B」地域以外は、州などの境界線を省略した。黄色の楕円は、「収容地区」のおよその所在位置と範囲、また楕円の中の数字は、その「収容地区」の正式な固有番号(番号が不明なものは無記入)である。例えば、バイカル湖西方の「イルクーツク州」には3つ(「第7」「第31」「第32」)の「収容地区」があり、あわせて5,386名の犠牲者が出たことを示す。



この図にはない各収容地区ごとの死亡者数、各収容地区の管理本部所在地名、各埋葬地ごと死亡者数などは、別添の『ソ連抑留中死亡者の地理的区分一覧表』・『ソ連抑留中死亡者の埋葬地等一覧表』を参考にされたい。「ラーゲリ」は従来「収容所」と訳されていたが、あえてこれを「収容地区」とし、それが地理的にかなり広範囲のものであるとの意味をこめた。